

## 1 総合戦略の基本的な考え

日本は、平成20年をピークに「人口減少時代」に突入していますが、本市の人口は、すでに平成8年をピークに減少し続けています。国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、平成52年には、本市の人口は約4.5万人となり、平成22年に比べて約25%減少する見込みです(右グラフ・---◇---)。

このまま人口減少が続くと、自治会や消防団、地縁活動など地域の自立的な活動の弱体化や、本市の基幹産業である窯業をはじめとする製造業のさらなる担い手不足が懸念されます。また、高齢者の増加に伴い、介護サービス、医療サービスなどの社会保障費が増大することで、本市の行財政運営に重大な影響を及ぼす可能性があります。

そこで本市では、市議会や市民、産官学金労言(産業・行政・教育・金融・労働・メディア)の各分野の有識者との協議、パブリックコメントなどを実施し、寄せられた幅広いご意見などを踏まえて、今後5年間で取り組むべき「土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を取りまとめました。

この総合戦略により、本市の人口減少に歯止めをかける(---◇---・土岐市将来人口の見通し)とともに、地域の特長を活かした持続可能で活力あるまちづくりを進めていきます。

また、今後、計画(plan)、実行(do)、評価(check)、改善(action)のPDCAマネジメントサイクルによる事業成果の運営や、外部有識者などの



参画による効果検証を実施していくことにより、施策のさらなる充実につなげます。



土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、市ホームページ【トップ>市政情報>施策・計画>土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について】に掲載しています。ぜひご覧ください。



## 2 総合戦略の基本目標、施策、主な取り組み

### 基本目標1 土岐市の次代を担う「ひと」を育む

- 【施策1】 若い世代の結婚への関心・意欲を高めるとともに出産前後の支援をする
  - ▷ 婚活パーティーへの助成、思春期体験学習の実施
  - ▷ マタニティフッキング、不妊治療費助成 など
- 【施策2】 ライフステージに応じた子育て支援を充実する
  - ▷ 児童手当、児童扶養手当、子どもの医療費助成
  - ▷ 認定こども園の整備、一時保育の実施 など
- 【施策3】 地域で子どもを守り・育む環境をつくる
  - ▷ ファミリーサポートセンター事業
  - ▷ 放課後児童対策、「ときっこ子育てハンドブック」の配布 など
- 【施策4】 特色ある小学校・中学校づくり
  - ▷ 小学校外国語講師の派遣
  - ▷ 教育相談員の配置、アレルギー対応食の提供 など



### 基本目標2 土岐市の特長や強みを活かして「しごと」をつくる

- 【施策5】 新たな産業や雇用・就業機会を創出する
  - ▷ 企業立地奨励事業、工業団地整備事業
  - ▷ 居場所づくり事業 など
- 【施策6】 陶磁器産業をはじめとする地元産業を活性化させる
  - ▷ 美濃焼振興事業(美濃焼の内外へのPR展示への助成)
  - ▷ 中小企業支援事業 など



### 基本目標3 土岐市の交流人口を活かして「にぎわい」をつくる

- 【施策7】 地域資源を活かして交流・集客を拡大する
  - ▷ 観光拠点施設運営事業
  - ▷ 観光PR事業、観光イベントなどへの助成事業 など



### 基本目標4 土岐市に愛着を持ち、安心して住み続けられる「まち」をつくる

- 【施策8】 住み続けたいと思える定住環境としての魅力を高める
  - ▷ 環境保全モデル林整備事業、駅前広場整備事業
  - ▷ 地域集会所(公民館)の整備補助事業
  - ▷ 地域の防犯活動の実施 など
- 【施策9】 若い世代の移住・定住を促進する
  - ▷ 定住促進事業、空き家リフォーム補助事業 など
- 【施策10】 健康寿命を伸ばし元気な高齢者を増やす
  - ▷ 市民の健康管理、老人クラブの活動への助成
  - ▷ 土岐市民総合体育大会の開催
  - ▷ 高齢者大学「はなの木大学」の運営 など

